

文部科学省「平成21年度大学教育・学生支援推進事業」の【テーマB】学生支援推進プログラム（就職支援の強化など総合的な学生支援）に、金沢工業大学、金沢工業高等専門学校が揃って採択

文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムテーマBの採択状況が発表された。本学園からは大学と高専から申請し、揃って採択された。

1. 事業の概要

文部科学省は、平成15年度にはじまった「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」と、平成16年度から運用している「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」を、平成20年度に大学の教育の質向上に向けた取組を支援する「質の高い大学教育推進プログラム」に統合した。更に本年度には、昨年12月の中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」にて特に大学教育の質保証の必要性が提言されたことを踏まえ、学部教育の充実や就職支援等の総合的な学生支援機能の強化を図るために「大学教育・学生支援推進事業」を新たに発展させた。

この事業には、「大学教育推進」を主題としたテーマAと、「学生支援推進」を主題としたテーマBの二つがあり、7月7日に、テーマBの採択結果が公表された。

テーマBの趣旨は、新規卒者の内定取消しなど学生の雇用が不安定となっていることに対応するための取組みを提案するもので、対象は私立大学の学生への就職支援の強化など総合的な学生支援の取組を推進するものである。財政支援期間は、大学が最長3年間、高専は2年間である。

2. テーマB全体の採択状況

区分		採択件数	申請件数
大学	国立	0	9
	公立	0	7
	私立	315	331
	小計	315	347
短大	国立		
	公立	0	0
	私立	84	89
	小計	84	89
高専	国立	0	11
	公立	0	1
	私立	1	2
	小計	1	14
計	国立	0	20
	公立	0	8
	私立	400	422
合計		400	450

3 . 大学、高専の採択内容

金沢工業大学	
取組名称	社会環境変化への対応力向上を実践するキャリア開発プロジェクト
取組の概要	<p>本取組は、産業界との緊密な連携体制により、さまざまな専門領域を融合する企業の取組を教育プロジェクトのテーマとして取込み、社会環境の変化に柔軟に対応したキャリア教育を実践するものです。具体的には、正課 課外の両面から学ぶ「キャリア開発プロジェクト」を発足し、各学科（分野）の専門領域の知恵が有機的に連携する企業の活動を教材として位置づけ、学部学科を横断した学習機会の中で学生が目指す技術者像について互いに学びあう【場】の構築や、企業の戦略から求められる人材像を学生自らが創造する学習機会を全学的に展開します。これにより学生は、【自ら考え行動する技術者】に求められる、社会の変化に対応した情報収集能力の向上や進路選択に対する幅広い視野を有することが可能となります。すなわち、激しく変化する社会環境の中で、明確な目的を持ち自らのキャリア開発を継続的に実践できる技術者を育成することが本取組の最大の目的です。</p>
取組期間	平成21年度～23年度（3年間）

金沢工業高等専門学校	
取組名称	共同と共創によるキャリアデザイン教育
取組の概要	<p>本校は、例年7割を越える学生が就職を希望し、地元産業界からの期待に応えてきた。しかし今日の世界同時不況により、インターンシップや工場見学の受入先確保が著しく困難となり、求人数も大幅に減少している。このような状況下で、学生が職業観を醸成し就職意欲を持ち続けるには、強い動機付けが必要となる。そこで、全学年でキャリア教育を展開し、学生が主体的にエンプロイアビリティを高めていくことを支援する取組を実施する。具体的には次の3つの学生支援策を行なう。</p> <p>職員が積極的に企業へ出向きインターンシップ及び工場見学先を確保すると共に、新たに、卒業生が参加する合宿進路研修や合同企業説明会を開催する。</p> <p>全学生が、目標及び活動成果を記録し、教職員との面談や省察に利用できるキャリアデザインノートを開発し整備する。</p> <p>有識者によるキャリア研修会を開催し、教職員のカウンセリング能力向上及びキャリア教育の浸透を図る。</p>
取組期間	平成21年度～平成22年度（2年間）